

2011. 06

# 「携帯電話・PHSのリサイクルに関する調査」 報告書

社団法人 電気通信事業者協会  
一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会

## 調査概要

- 調査目的 : 平成22年度の携帯電話・PHSのリサイクル実績指数をまとめるに当たって、回収台数などの数値指標の背景にある利用者の意識、行動を把握する。
- 調査対象 : 携帯電話またはPHSを所有する\*15歳以上の男女（\*プライベート利用に限る）  
※マクロミルモニタより抽出
- 調査地域 : 全国
- 調査方法 : インターネットリサーチ
- 調査時期 : 平成23年4月20日(水)～4月23日(土)
- 有効回答数 : 2,066サンプル ※下記の通り、性年代で割付(回収結果は前回同様)

● 割付セル別有効回答数

		15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	計
男性	N	94	188	188	188	188	187	1,033
	%	4.5%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	50.0%
女性	N	94	188	188	188	188	187	1,033
	%	4.5%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	50.0%
計	N	188	376	376	376	376	374	2,066
	%	9.0%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	100.0%

- 調査実施機関 : 株式会社マクロミル

## 調査概要

### 【注】 過去調査結果との比較について

本報告書内では平成21年度、平成20年度、平成19年度の調査結果との比較を掲載しているが、

**平成19年度**は調査概要において下記赤字箇所が今回調査とは異なる。

このため、過去調査結果データに関しては参考値とされたい。

#### 【平成19年度 調査概要】

- 調査対象 : 携帯電話またはPHSを所有する\*男女（\*プライベート利用については不問）※年齢指定なし
- 調査地域 : 沖縄県を除く全国
- 有効回答数 : 2,000サンプル ※性年代の構成比は下記の通り

#### 平成20年度・平成21年度

##### ● 性年代別有効回答数

		-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	計
男性	N		94	188	188	188	188	187	1,033
	%		4.5%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	50.0%
女性	N		94	188	188	188	188	187	1,033
	%		4.5%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	50.0%
計	N		188	376	376	376	376	374	2,066
	%		9.0%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	100.0%

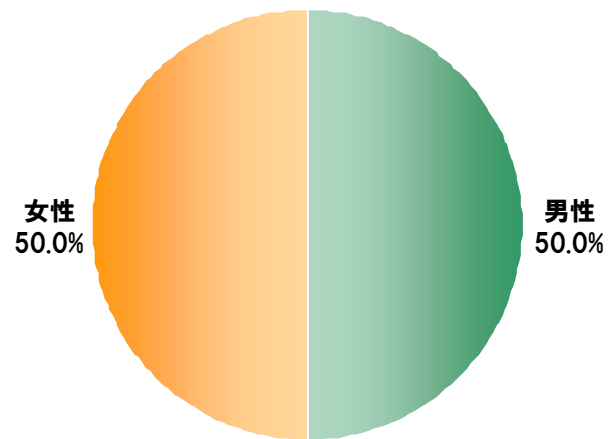
#### 平成19年度

##### ● 性年代別有効回答数

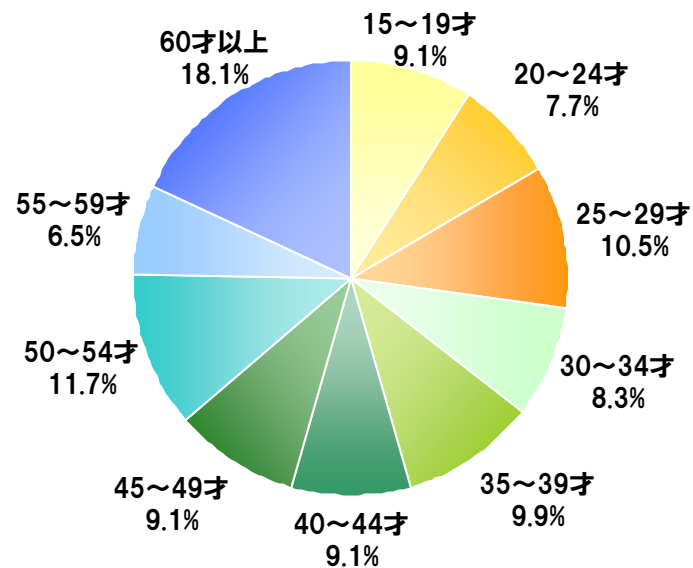
		-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	計
男性	N	13	237	250	250	122	96	32	1,000
	%	0.7%	11.9%	12.5%	12.5%	6.1%	4.8%	1.6%	50.0%
女性	N	6	244	250	250	163	75	12	1,000
	%	0.3%	12.2%	12.5%	12.5%	8.2%	3.8%	0.6%	50.0%
計	N	19	481	500	500	285	171	44	2,000
	%	1.0%	24.1%	25.0%	25.0%	14.3%	8.6%	2.2%	100.0%

# 回答者のプロフィール n=2,066

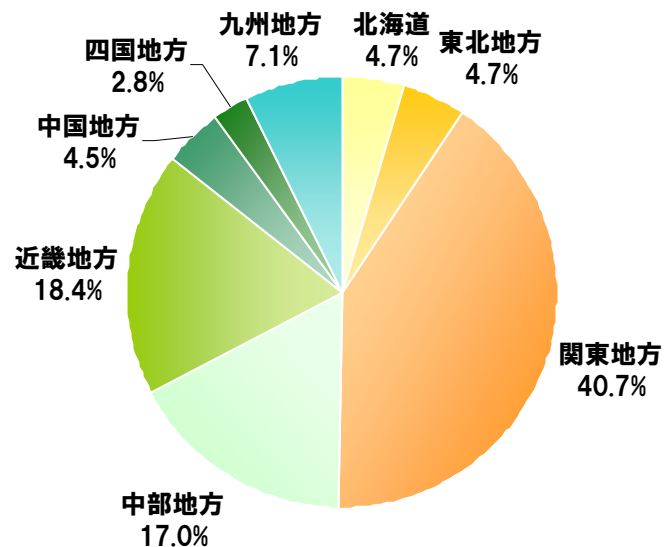
## 性別



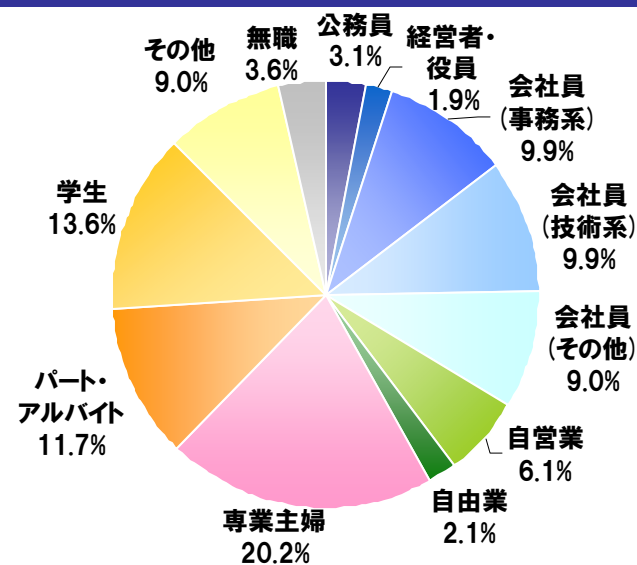
## 年齢



## 居住地



## 職業



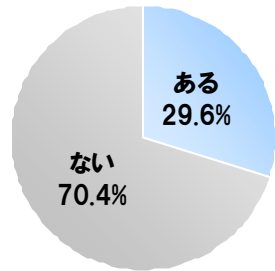
# 携帯電話の処分経験と処分端末の詳細

## ■ 携帯電話の処分経験の有無(Q6)

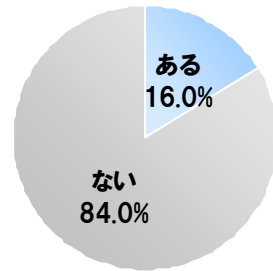
- ✓過去1年間に携帯電話・PHSを処分したことが「ある」人は14%。
- ✓時系列で見ると、20年度以降、処分経験率は15%前後で推移。

Qあなたは、過去1年間(2010年4月～2011年3月まで)に、ご自身が使用していた携帯電話・PHSを処分したことがありますか。  
※ここでいう、処分とは店で引き取ってもらったり、人にあげたりした場合も含まれます。【単一回答】

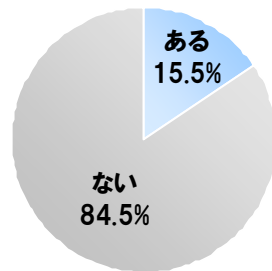
H19年度(参考) (n=2,000)



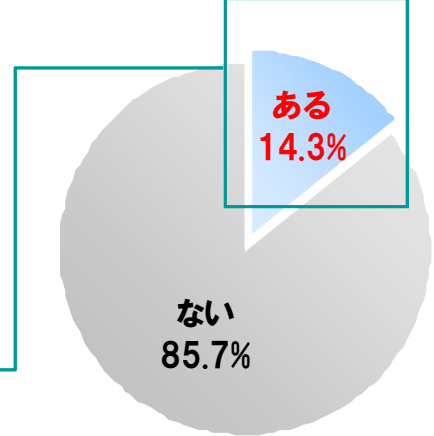
H20年度(参考) (n=2,066)



H21年度(参考) (n=2,066)



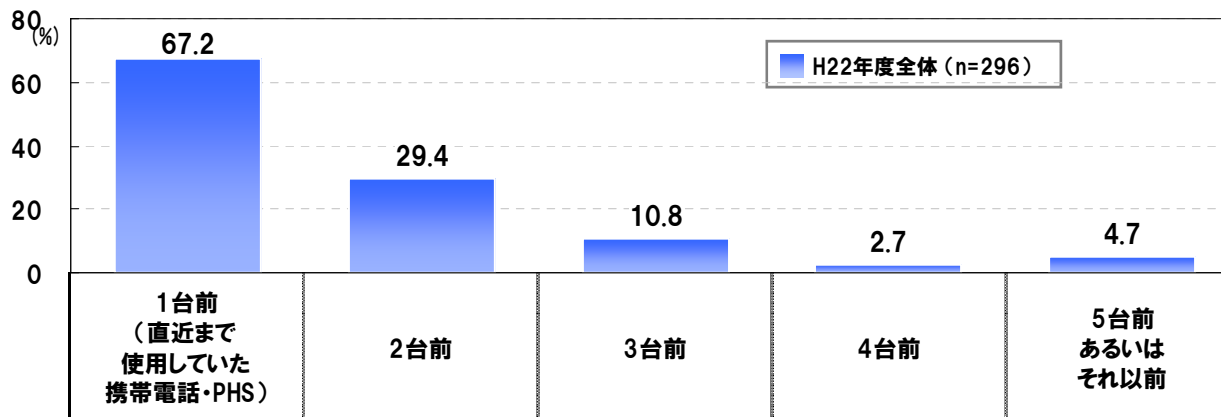
H22年度 (n=2,066)



## ■ 処分した携帯電話の詳細(何台前か)(Q8) ※1年以内に処分経験が「ある」人ベース

「1台前」が67%で最多。次いで「2台前(29%)」、「3台前(11%)」と続き、5台以上前との回答も5%あった。

Q 過去1年間に処分された携帯電話・PHSは、ご自身が何台前に使用していた端末ですか。(いくつでも)※ここでいう、処分とは店で引き取ってもらったり、人にあげたりした場合も含まれます。(複数回答)



※全体スコア降順でソート

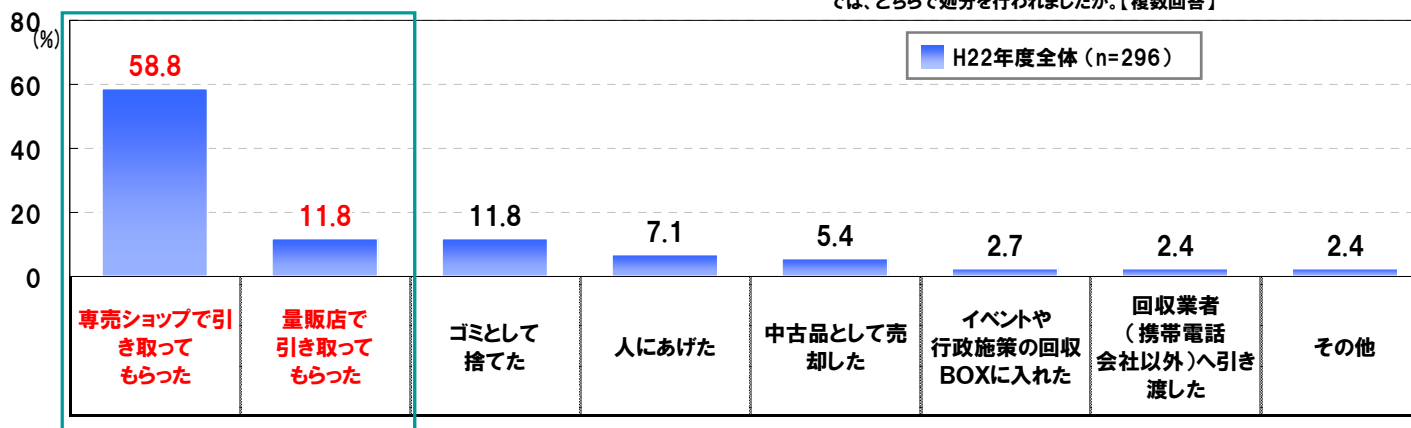
※全体スコア降順でソート

# 携帯電話の処分経験と処分方法

## ■ 処分方法(Q7) ※処分経験が「ある」人ベース

✓処分方法は「専売ショップで引き取ってもらった」が最も高く、59%。以下「量販店で引き取ってもらった」(12%)が続く、大半が「店舗での引き取り」となっている。

Q 前問で過去1年間に処分した携帯電話・PHSが「ある」とお答えの方に伺います。では、どちらで処分を行われましたか。【複数回答】

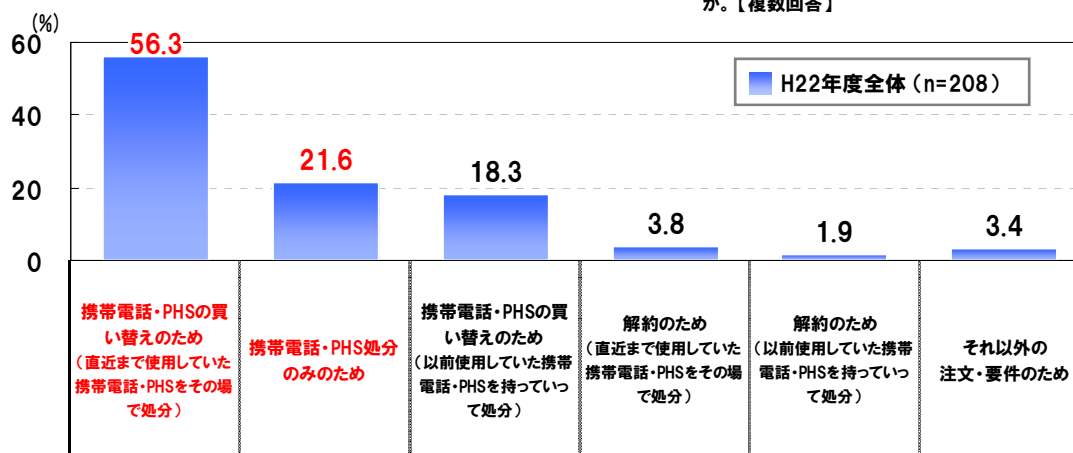


※全体スコア降順でソート

## ■ 店頭来店の目的(Q9) ※店頭で処分した人ベース

✓店頭で処分した人の来店目的は、「携帯電話・PHS買い替えのため(直近使用端末をその場で処分)」が最も高く56%。来店した人の中でも、「携帯電話・PHS処分のみのため」は22%と一定数存在。(対象者全体(n=2,066)の中では2%程度)

Q 過去1年間に携帯電話・PHSを処分した際に、「専売ショップで引き取ってもらった」「量販店で引き取ってもらった」とお答えの方にお伺いします。どのような目的でお店に行かれた時に処分されましたか。【複数回答】



※全体スコア降順でソート

※全体スコア降順でソート

# 通信機器として利用中のもの以外の携帯電話・PHSの保有状況

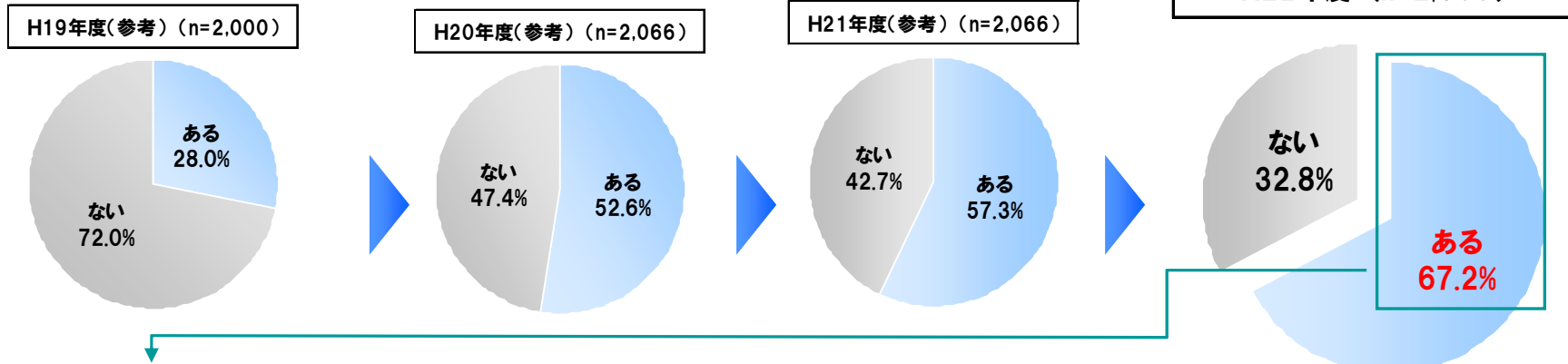
## 通信以外の携帯電話・PHSの保有状況(Q11)

※設問文、選択肢に変更があるが、ほぼ同義の内容として比較を実施

✓通信機器として利用中のもの以外に保有している携帯電話・PHSが「ある」人は、昨年度は57%で、今年度は67%と10ポイント増加し、H19年度から一貫して保有者は増加傾向にある。

Qあなたが現在、通信機器(電話・メール等)として、日常的にご利用中のもの以外に保有(保存)している携帯電話・PHSは何台ありますか。

※ここでいう「保有(保存)」とは、日常、通信機器以外の用途で使っている場合なども含みます。【単一回答】



## 保有理由(Q13)

※通信機器以外に保有(保存)している人ベース

✓「保存しておきたいデータがあるため」が最も高く、40%。次いで「通信以外の機能を利用しているため」が29%。

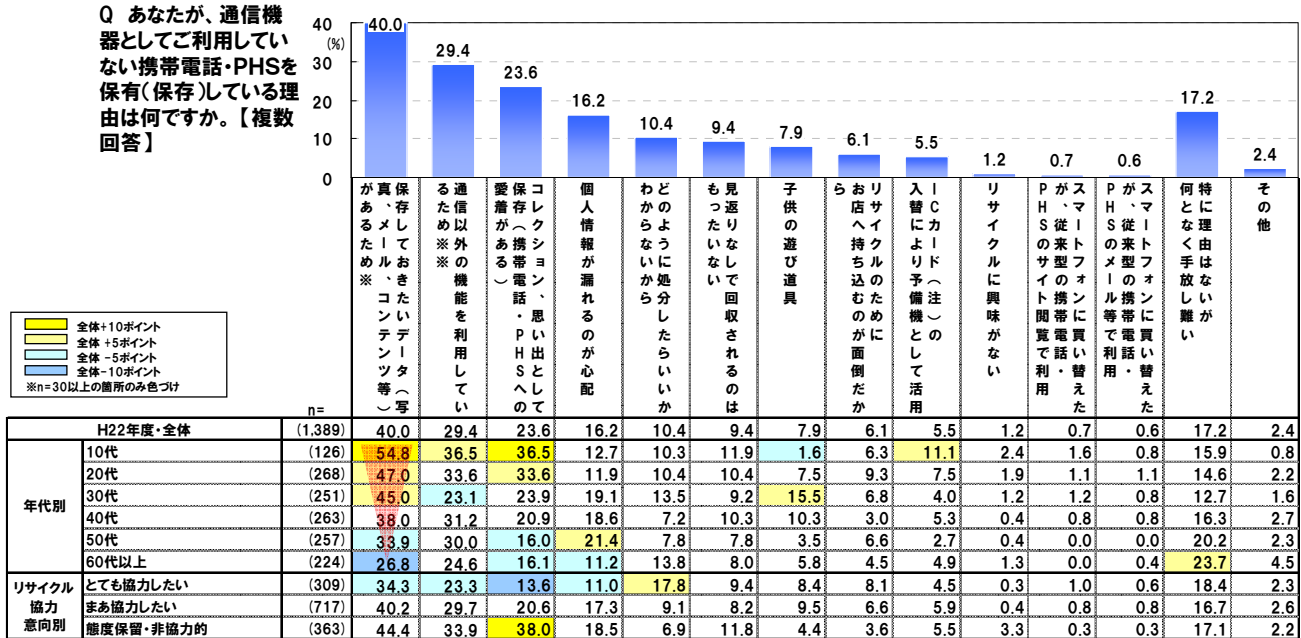
✓年代別では、10代と20代で「保存しておきたいデータがあるため」が最も高く、これは若年層ほど高い傾向にある。その他、「通信以外の機能を利用しているため」「コレクション、思い出として」などが高い。30~50代は「個人情報情報が漏れるのが心配」が高い。

⇒若年層は、物心両面で思い出が詰まっている携帯電話の処分を躊躇している様子。

✓リサイクル協力意向別では、とても協力したい層で「どのように処分したらいいかわからない」が18%と全体と比較して高い。

⇒元々リサイクル協力意向が高い層なので、適切に誘導すればリサイクル率アップに繋がる可能性が高い。

Qあなたが、通信機器としてご利用していない携帯電話・PHSを保有(保存)している理由は何ですか。【複数回答】



※「H22年度・全体」のスコアで降順にソート

# 通信機器として利用中のもの以外の携帯電話・PHSの処分意向

## ■ 各段階における処分意向(Q12, Q15, Q17)

- ✓直近で保有している携帯ほど、処分意向(Top2)は低い。
- ✓バックアップ可能時の処分意向は62%。  
保存しておきたいデータがある人の、バックアップが可能になった場合の処分意向は83%と高い。
- ✓適正な個人情報管理が行われる場合の処分意向は68%。  
個人情報漏えいを心配している人の、適正な個人情報管理が行われる場合の処分意向は81%と高い。

Top2 : 「処分してもよい」+「まあ処分してもよい」  
Bottom2 : 「あまり処分したくない」+「処分したくない」

Q あなたが、通信機器(電話・メール等)としてご利用中のもの以外に保有(保存)している携帯電話・PHSについて、今後何らかの方法で処分しても良いと思えますか。新しいものから順にお答えください。※ここでいう、処分とは店で引き取ってもらったり、人にあげたりする場合も含みます。【単一回答】

■ 処分してもよい ■ まあ処分してもよい ■ どちらともいえない  
■ あまり処分したくない ■ 処分したくない

※通信目的以外に1台以上携帯電話・PHSを保有している人ベース

保有している 携帯電話・PHS (台数別)	n=	(% )					Top2	Bottom2
		処分してもよい	まあ処分してもよい	どちらともいえない	あまり処分したくない	処分したくない		
1台前(直近まで使用していた端末)	(1,389)	27.6	19.3	16.9	19.2	17.0	46.9	36.2
2台前	(527)	34.5	22.0	13.3	16.5	13.7	56.5	30.2
3台前	(224)	37.5	23.2	11.2	13.4	14.7	60.7	28.1
4台前	(91)	37.4	24.2	11.0	11.0	16.5	61.5	27.5
5台前あるいはそれ以前	(42)	35.7	28.6	14.3	4.8	16.7	64.3	21.4

Q データの移行や媒体へのバックアップができるなら端末を処分してもよいと思えますか。【単一回答】

バックアップ 可能時	バックアップ可能時の処分意向		(% )					Top2	Bottom2
	n=	処分意向	処分してもよい	まあ処分してもよい	どちらともいえない	あまり処分したくない	処分したくない		
	(2,066)		32.5	29.9	20.6	10.4	6.6	62.4	17.0
	(133)	保存しておきたいデータがある人 ベース	48.1	34.6	13.5	2.3	1.5	82.7	3.8

Q 個人情報管理が適正に行われるとしたら、端末を処分してもよいと思えますか。【単一回答】

個人情報管理が 行われる場合	適正な個人情報管理が行われる場合の 処分意向		(% )					Top2	Bottom2
	n=	処分意向	処分してもよい	まあ処分してもよい	どちらともいえない	あまり処分したくない	処分したくない		
	(2,066)		36.1	32.1	17.7	9.1	5.0	68.2	14.1
	(42)	個人情報が漏れるのが心配な人 ベース	33.3	47.6	9.5	7.1	2.4	81.0	9.5

※「保存しておきたいデータがある人」は、Q13において「保存しておきたいデータがある」を選んでおり、それ以外の選択肢を1つも選んでいない人を指す。

※「個人情報が漏れるのが心配な人」は、Q13において「個人情報が漏れるのが心配」を選んでおり、それ以外の選択肢を1つも選んでいない人を指す。



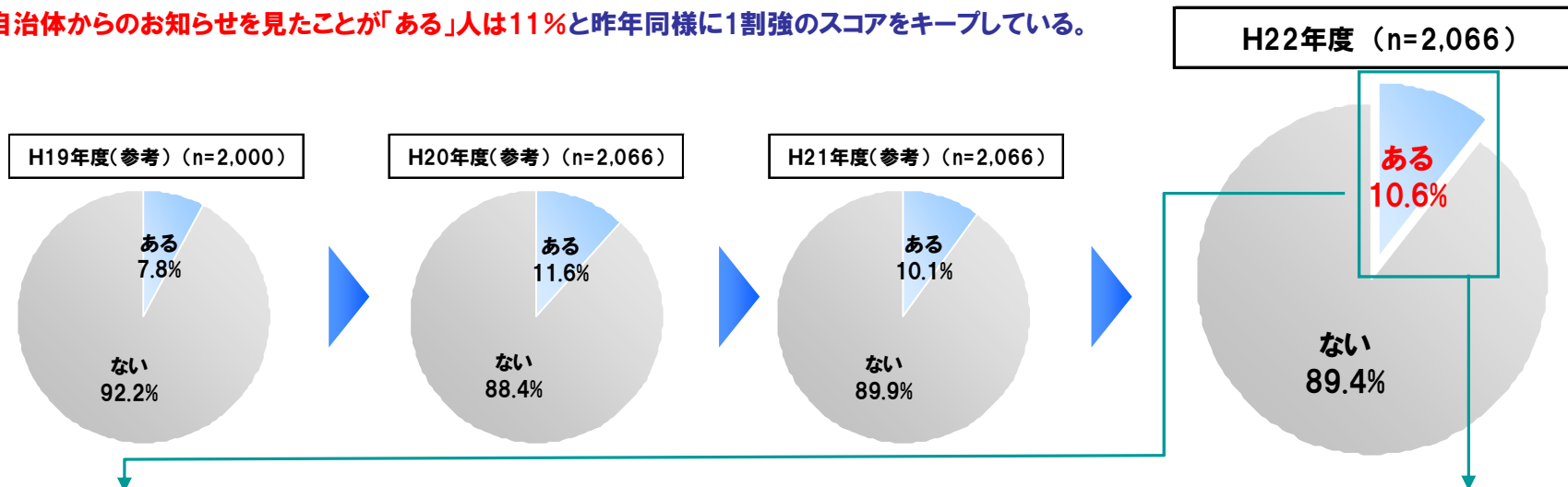
# 自治体からのお知らせの認知・認知経路

## 自治体のお知らせの認知(Q18)

※設問文、選択肢に変更があるが、ほぼ同義の内容として比較を実施

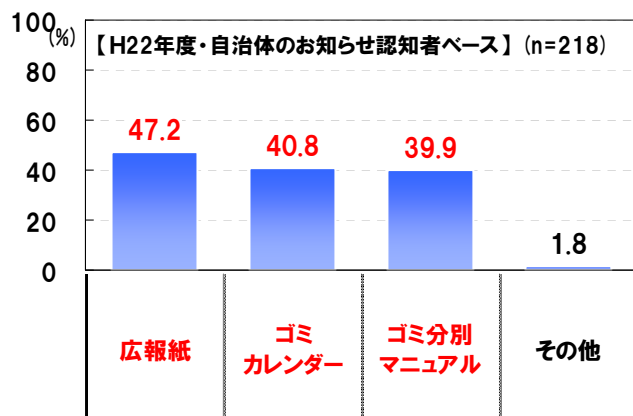
✓自治体からのお知らせを見たことが「ある」人は11%と昨年同様に1割強のスコアをキープしている。

Q 不要になった携帯電話・PHSの処分方法について、あなたのお住まいの自治体からの広報紙やゴミカレンダー等によるお知らせ等を見たことがありますか。  
※ここでいう、処分とは店で引き取ってもらう場合も含まれます。【複数回答】



## 認知経路(Q18) 詳細 ※自治体のお知らせ認知者ベース

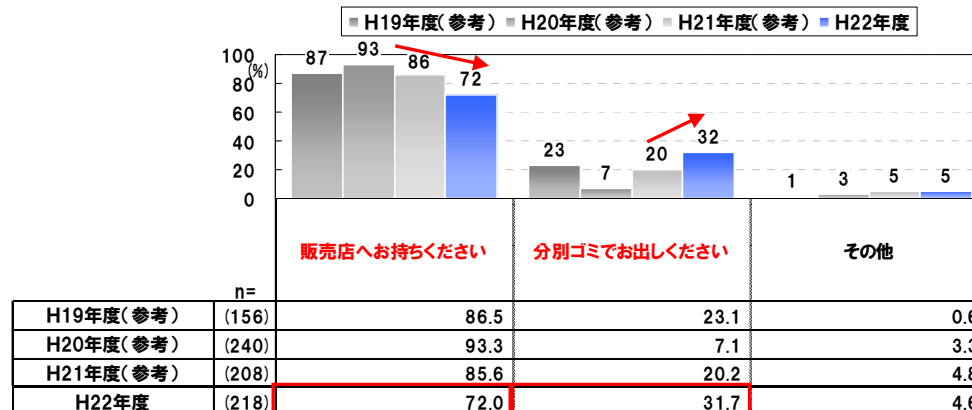
✓認知経路は「広報紙」がもっとも高く、47%。「ゴミカレンダー」や「ゴミ分別マニュアル」も4割前後。



## 認知内容(Q19) ※自治体からのお知らせ認知者ベース

✓認知内容は「販売店へお持ちください」が最も高く7割強だが、昨年からは14ポイント下降。「分別ゴミでお出しください」は32%で、昨年からは12ポイント上昇。ごみとして引き取らない自治体もあり、誤認が増加している可能性あり。

Q お知らせを見たことがある方にお伺いします。それは、どのようなものでしたか。【複数回答】

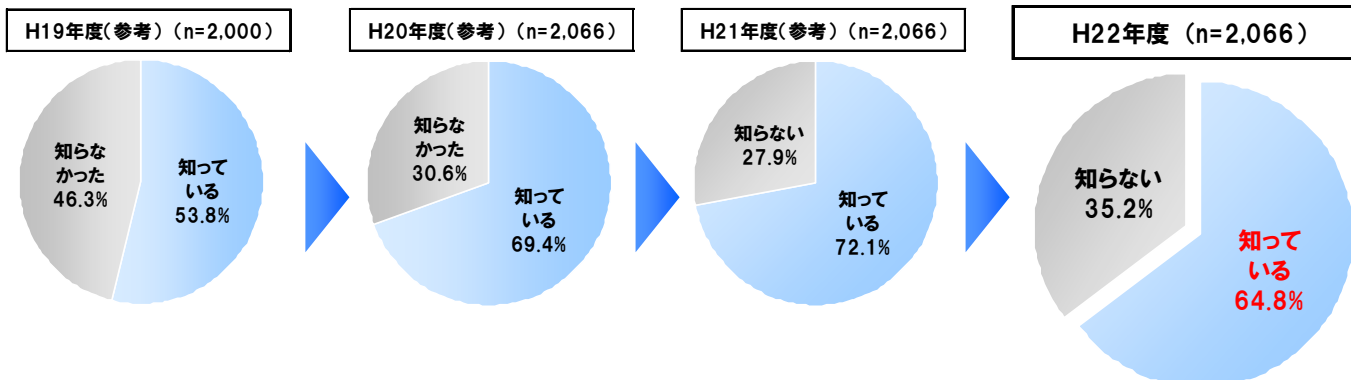


# 各情報の認知状況

## ■ 事業者の回収リサイクル認知状況(Q20)

✓事業者の回収リサイクルを「知っている」人は、前回の72%から10ポイント近く下降して65%。昨年度まで徐々に高まっていた認知度が一昨年度並みの水準に戻った。

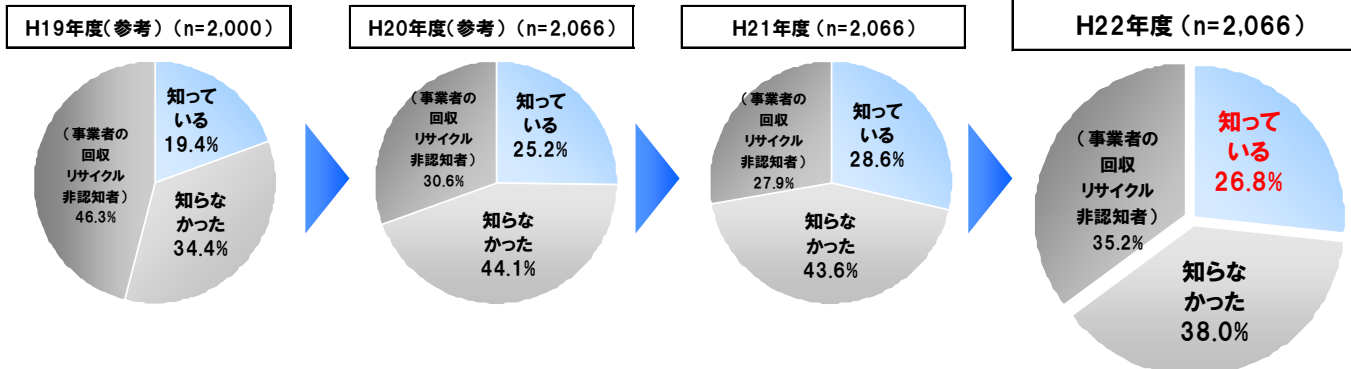
Q あなたは、携帯電話・PHS事業者(NTTドコモやKDDI(au)、ソフトバンクモバイル等)などが携帯電話・PHSの回収リサイクルを行っているのを知っていますか。【単一回答】



## ■ 専売ショップでメーカー、ブランドに係わらず無償回収していることの認知状況(Q23)

✓メーカー、ブランドに係わらず無償回収していることを「知っている」人は、前回の29%とほぼ同じく全体の27%を占める。

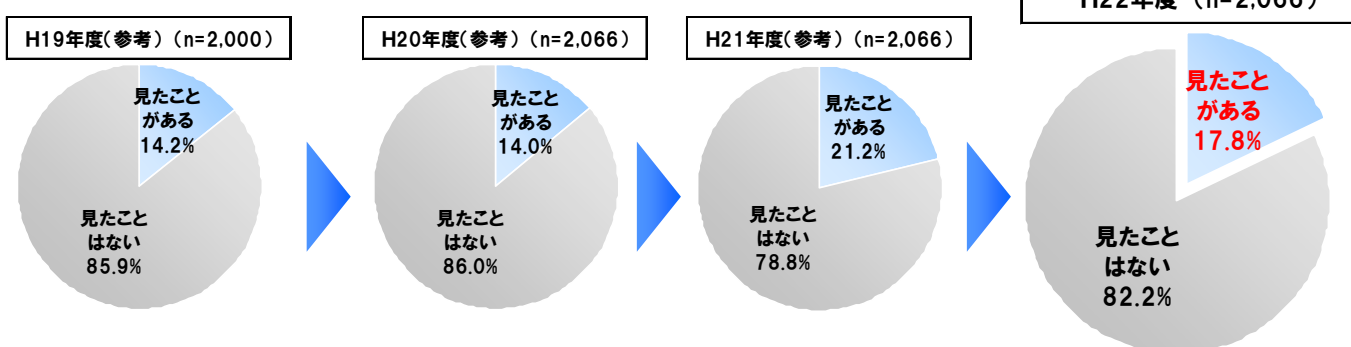
Q 専売ショップでは、メーカー、ブランドに係わらず携帯電話・PHSを無償で回収しているのを知っていますか。【単一回答】



## ■ ロゴの認知状況(Q24)

✓ロゴマークを「見たことがある」人は、前回の21%からやや減少して18%。

Q あなたは、このロゴマークを見たことがありますか。【単一回答】



# 今後の回収リサイクル協力意向

## ■ 今後の回収リサイクル協力意向(Q27)

- ✓ 今後のリサイクル協力意向(Top2)は76%。「とても協力したい」は26%。
- ✓ 年代別では、60代以上で「とても協力したい」が35%と高い。事業者の回収リサイクルに関する認知率(Q20参照)は低いことから、この層に対して適切な告知をすることによってリサイクル率の底上げにつながる余地があると思われる。

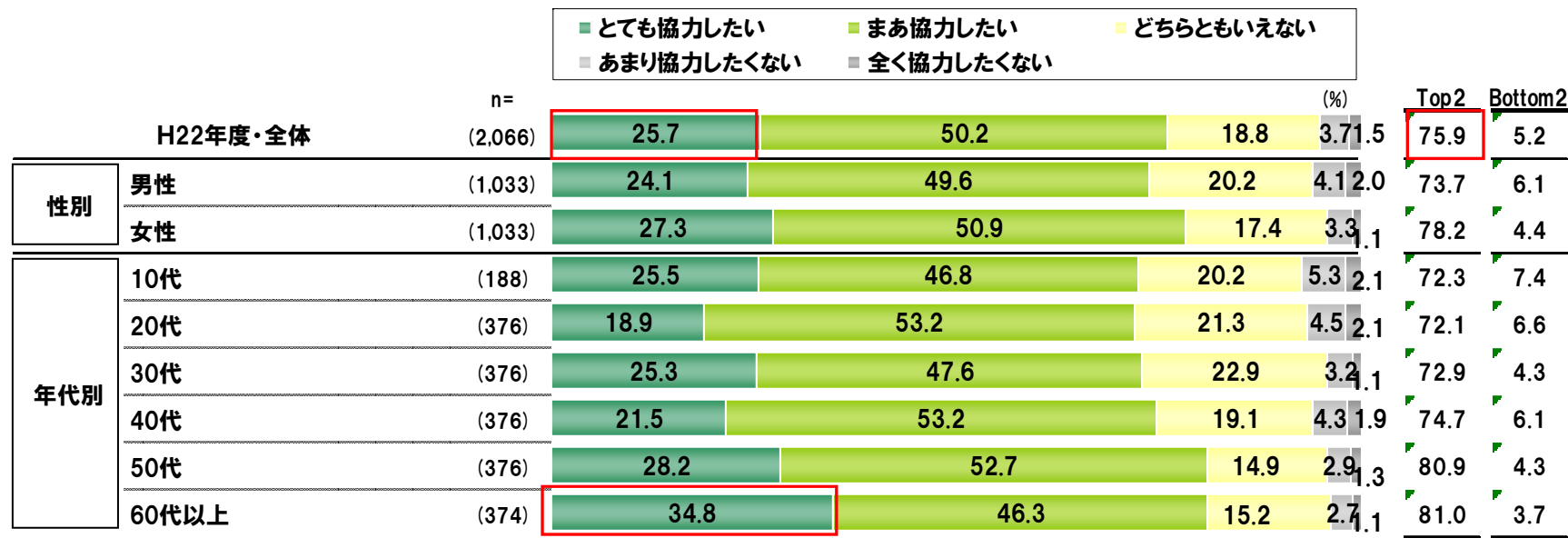
携帯電話・PHS(以下「携帯電話」)の普及に伴い、使用済み携帯電話を不法に投棄する人や、個人情報を含んでいるために処分に困る人が増えました。

携帯電話事業者は、こうした問題を解消して地球環境保全に貢献するとともに、貴金属・レアメタルなど資源の有効活用に資するため、1990年代から使用済み携帯電話の回収リサイクルを始めました。

2001年4月からは、利用者の安心と利便性をより高めるため、「モバイル・リサイクル・ネットワーク(MRN)」という仕組みを構築し、専売ショップを中心に、メーカー、ブランドに係わらず携帯電話を無償で回収する取り組みを推進しています。

Q 上記をお読みになって、あなたは今後、携帯電話・PHSの回収リサイクルに、どれくらい協力したいですか。(単一回答)

Top2 : 「とても協力したい」+「まあ協力したい」  
Bottom2 : 「あまり協力したくない」+「全く協力したくない」



## ※参考資料 スマートフォンユーザーについて

■ 今回調査では、「スマートフォンユーザー」が全体の1割を占めた。ただし、依然として従来型ユーザーが9割を占めているため、比較分析の視点としてはややバランスに欠けるが、今後その増加が見込まれるため、今回の結果から特徴的なポイントを以下に記述した。

### ■ 通信以外の携帯電話・PHSの保有状況(Q11)

※設問文、選択肢に変更があるが、ほぼ同義の内容として比較を実施

Q あなたが現在、通信機器(電話・メール等)として、日常的にご利用中のもの以外に保有(保存)している携帯電話・PHSは何台ありますか。※ここでいう「保有(保存)」とは、日常、通信機器以外の用途で使っている場合なども含まれます。【単一回答】

✓通信機器として利用中のもの以外の端末の保有率は74%と、全体に比較して7ポイント高くなっている。

	n=	持っている計 (%)	持っていない (%)
H22年度・全体	(2,066)	67.2	32.8
スマートフォンメイン	(229)	74.2	25.8

### ■ 事業者の回収リサイクル認知状況(Q20)

Q あなたは、携帯電話・PHS事業者(NTTドコモやKDDI(au)、ソフトバンクモバイル等)などが携帯電話・PHSの回収リサイクルを行っているのを知っていますか。【単一回答】

✓事業者の回収リサイクル認知率は70%と、全体に比較して5ポイント高くなっている。

	n=	知っている (%)	知らない (%)
H22年度・全体	(2,066)	64.8	35.2
スマートフォンメイン	(229)	70.3	29.7

### ■ 携帯電話・PHSの処分意向(1台前(直近まで使用していた端末)(Q12)

Q あなたが、通信機器(電話・メール等)としてご利用中のもの以外に保有(保存)している携帯電話・PHSについて、今後何らかの方法で処分しても良いと思いませんか。新しいものから順にお答えください。※ここでいう、処分とは店で引き取ってもらったり、人にあげたりする場合も含まれます。【単一回答】

✓直近使用端末について「処分してもよい計(39%)」と意向は低く、スマートフォンユーザーは、直近まで使用していた端末の処分には消極的な様子。

	n=	処分意向 (%)					※通信目的以外に1台以上携帯電話・PHSを保有している人ベース	
		処分してもよい	まあ処分してもよい	どちらともいえない	あまり処分したくない	処分したくない	Top2 (%)	Bottom2 (%)
H22年度・全体	(1,389)	27.6	19.3	16.9	19.2	17.0	46.9	36.2
スマートフォンメイン	(170)	18.2	21.2	17.1	20.0	23.5	39.4	43.5

Top2 : 「処分してもよい」+「まあ処分してもよい」  
Bottom2 : 「あまり処分したくない」+「処分したくない」

### ■ 専売ショップでメーカー、ブランドに係わらず無償回収していることの認知状況(Q23)

Q 専売ショップでは、メーカー、ブランドに係わらず携帯電話・PHSを無償で回収しているのを知っていますか。【単一回答】

✓専売ショップでメーカー、ブランドに係わらず無償回収していることの認知率は34%と、全体に比較して7ポイント高くなっている。

	n=	知っている (%)	知らなかった (%)	(事業者の回収リサイクル非認知者) (%)
H22年度・全体	(2,066)	26.8	38.0	35.2
スマートフォンメイン	(229)	34.1	36.2	29.7

⇒スマートフォンユーザーは、通信機器として利用中のもの以外の端末の保有率が高く、直近利用の携帯電話・PHSの処分意向が低い一方で、事業者の回収リサイクル、専売ショップでの無償回収の認知率が高いことから、各種リサイクル施策を知りながら、これら端末を手放さないという姿が見て取れる。